



ICHIKAWA H.S

NEWSLETTER

AGENCYの育成を
目指す緑学年通信

VOL.22
26 NOV, 2025

～シンパシーとエンパシー～

先日は早くも修学旅行に向けた学習が始まりました。みなさんもほぼ確実に行くであろう“ひめゆりの塔”の話や、民間人もたくさん避難したガマの話、当時の沖縄戦の話を立山先生が分かりやすく詳しく伝えてくれました。今週も、スペシャルゲストをお呼びして、現在も続く沖縄基地問題の話を踏まえ、「日本の平和を守っていくためにはどのようにしていくべきか」や「国際社会をリードするためにどのようにしていくべきか」等を考えていきたいと思います。

演出家でもあり、作家でもある鴻上尚史さんは「不死身の特攻兵」の中で9回特攻に出て9回帰ってこられた佐々木友次さんにインタビューしたときの話を次のように綴られています。『特攻隊の生き残った方々が、フィリピンで捕虜になった後に、船で日本に帰ってきて、駅に向かって歩いていたら石が飛んできて、日本人が「お前らのせいで日本が負けたんだ！」「馬鹿野郎！」と言っていた。」命からがら戻ってきたら、「お前らのせいで戦争に負けた！」「なんで帰ってきたんだ！」って同じ日本人から石を投げられるっていうの…。もし地獄というものがあるとしたらこれだろうという感じがあった。』

沖縄戦では4分の3の人が生き延びれたなんて



11/23(日)波江野ゼミ「あおぞらボッチャ大会」

「ひめゆりの塔・ひめゆり平和祈念資料館」



言いますが、生き残ったほうがつらかった人もたくさんいたんでしょうね。定期考査終了直後にも関わらず、あんなに真剣に、前向きに受けてくれたことにとても感謝です。その姿にとても感動しました。

鴻上尚史さんの話をもう一つ。ほぼ日刊イトイ新聞というHPに「シンパシーとエンパシー」という話が載っていたので紹介します。

『シンパシーは同情する気持ちのことで、例えばシンデレラだったら、「シンデレラはかわいそうだな」というもの。エンパシーは共感する能力のことで、「シンデレラの継母はどうしてあそこまでシンデレラに冷たく当たったんだろう？ひょっとしたらシンデレラの魅力をわかっていて、実の娘が勝てないと思ったからなのか」とか考える能力』と述べられていました。

エンパシーはとても大事な力だと常々思っています。相手の立場にたって物事を考えることができる、自分だったらどうするかを考えながら行動することができる等、エンパシーが育つことでたくさんのスキルが身についていくと思います。

戦争の話も日本から見れば原爆は悪！ですが、アメリカから見れば原爆を落としたことが正当化されている部分もたくさんあります。どうしてか？自分なりの考えをもった上でぜひ調べてみるというでしょう。これもエンパシーですね。みんなの修学旅行をみんなで大事に育てていきましょう。